

No. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	3	廣 瀬 雅 一	
<p>1. 消滅可能性自治体をうけての町長の見解は</p> <p>有識者で組織する「人口戦略会議」は、2050年までに20代から30代の女性が半減し、「最終的には消滅する可能性がある」とした分析を公表いたしました。</p> <p>北海道では179市町村のうち117市町村が該当しており、当町もその中に含まれております。10年前も同様な分析があり、全国の自治体も少子化対策・人口減少対策への動きが加速したものと思われまます。</p> <p>北海道では多くの自治体において人口流出が際立つ「社会減」となっているところですが、当町においては、町長就任以来、移住定住施策や企業支援施策、子ども子育てに関する施策を行ってきたところであり、約50年ぶりに、転入が転出を上回る「社会増」となった事は、大変喜ばしいことであり、移住定住施策の成果と捉えております。</p> <p>しかしながら「自然減」の対策に関しては、現在進行形のものや、新たな施策に大いに期待はしておりますが、長期的な視野が必要かと感じているところがございます。</p> <p>そこで町長にお伺いいたします。</p> <p>木古内町が消滅可能性自治体との報道をうけて、町長の見解および、これからの更なる対策をお考えかをお伺いいたします。</p>			町 長
<p>2. 当町におけるネーミングライツ（命名権）の導入について</p> <p>3月の定例会での町政執行方針において、「経常経費の節減や新たな財源確保などに努め、安定した財政運営に取り組んでまいります。」また、5月の臨時会における所信表明では、「健全な財政運営に努め、2030年までに新たな財源として、企業版ふるさと納税の大幅増加。」とあり財源確保への取組が期待されるところがございます。</p> <p>そこで財源確保の一端として町長にお伺いいたします。</p> <p>当町公共施設へのネーミングライツ導入のお考えについてお伺いたします。</p>			町 長